

令和 7 年度 千葉県における「ひらめ太平洋中部系群」に係る資源管理協定の取組の効果の検証結果（中間）

（１）千葉県におけるヒラメの漁業実態（太平洋中部海域）

千葉県におけるヒラメは勝浦市以北の太平洋北部系群と鴨川市以西の太平洋中部海域に区分される。太平洋中部海域は鴨川から内房海域にかけて、主に刺し網漁業、つり漁業、小型機船底びき網漁業及び定置網漁業で漁獲されている。通年で漁獲されるが、主な漁期は冬春季である。

（２）資源管理の目標及び目標達成のための具体的な取組

目標（千葉県資源管理方針に定める資源管理の方向性）

千葉県沿岸水産資源の資源評価において判断される中位以上の資源水準（資源量で 1 年当たり 305 トンを上回る資源水準）を維持する。

該当する資源管理協定

「ひらめ太平洋中部系群」に係る資源管理協定（以下、協定という。）は、下表のとおりで、4 漁協所属の約 10 名が、ヒラメを対象とした、それぞれの協定に参加しており、このうち本検証の対象となる協定は、2 協定となっている。

協定	備考	協定	備考	協定	備考	協定	備考
新富津		鋸南町勝山		館山		東安房（和田）	

本検証の対象協定

自主的取組

漁業の種類	資源管理の取組	取組の内容	備考
小型機船底びき網漁業	休漁日の設定	定期休漁（火・土曜日）	新富津
	操業時間の制限、 漁具の制限	漁具の制限：桁幅の制限 操業時間：内湾底びき網連絡協議会で資源状況等に応じて協議決定	
	小型魚の保護	全長 25cm 未満の小型魚の再放流	
刺し網漁業	休漁日の設定	第 1・第 3 土曜日	館山
	小型魚の保護	全長 30cm 未満の小型魚の再放流	

協定に記載されている取組

小型機船底びき網漁業については、関係漁業者により内湾底びき網連絡協議会が組織されており、資源管理の取組は当該協議会で協議決定の上、実践している。また、漁業者と千葉県水産総合研究センターとの共同調査による資源状況結果等に合わせ、同海域で操業する神奈川県の小型機船底びき網漁業者とも連携し、資源管理の取組を実施している。なお、上記の取組の他、資源状況等に合わせて内湾底びき網連絡協議会で協議決定した、年末年始お盆期間の休漁、禁漁期間の設定といった様々な取組を実施し、状況に応じた検討を行っている。

また、県では 1982 年から種苗放流を実施している。

(3) 資源管理の取組状況

本県におけるヒラメ太平洋中部海域の漁獲量は、2005 年以降 2012 年までは 90～150 トン程度で推移し、2013 年～2017 年は卓越年級群の発生等の影響で高い水準となったが、2018 年以降は 2021～22 年を除き再び 2012 年以前の水準で推移し、2023 年は 91 トンとなった（図 1）。県の令和 7 年(2025)度資源評価では、現在の資源動向は減少、資源水準は低位となっている（図 2）。協定参加者による検証（以下、「自己点検」という。）では、漁獲努力量は維持していると判断されたものの、漁獲量及び CPUE（単位努力量あたり漁獲量）は減少と判断されており、資源評価結果と一致する結果となった。また、魚価（単価）は 1 地区で低下、1 地区で維持していると判断している。

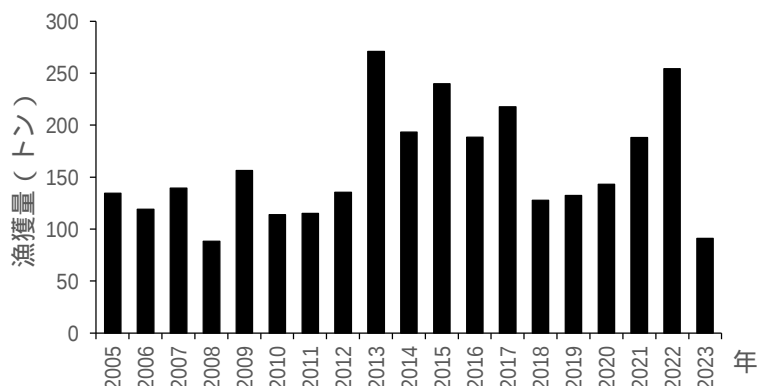


図 1 千葉県におけるヒラメ太平洋中部海域の漁獲量
(千葉県調べ)

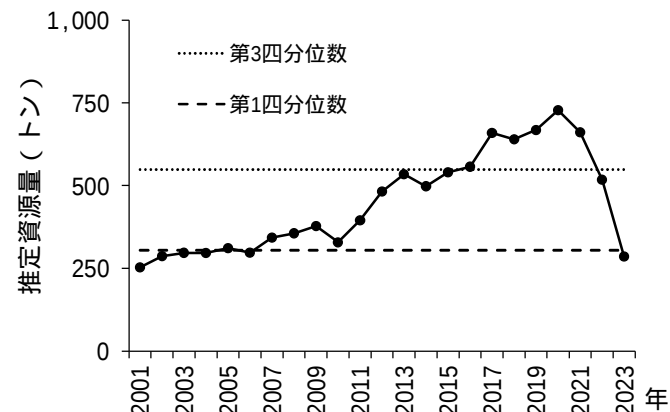


図 2 千葉県におけるヒラメ太平洋中部海域の推定資源量の経年変化
(千葉県調べ)

(4) 資源管理の効果を高めるための協定の改善・高度化の検討

ヒラメ太平洋中部海域は休漁日の設定や操業時間の制限などが実施されているものの、直近年の千葉県における資源状況は資源管理の目標を下回っており、自己点検では全地区で漁獲努力量は維持しているが、漁獲量や CPUE の減少などにより「取組の効果は感じない」とされた。一方で、現在の取組が不十分とは認識されておらず、効果を感じられない要因は海洋環境による影響の可能性があるとは判断されている。水産研究・教育機構が令和 6 (2024) 年度に実施したヒラメ太平洋中部海域の資源評価では、2019 年及び 2018 年から加入量及び再生産成功率が減少し続けているとされており、さらに近年は黒潮大蛇行等による海洋環境の変動が顕著であったことから、再生産過程において海洋環境が影響を及ぼされた可能性は否定できない。

一方、県では 1982 年から種苗放流を実施している。放流魚の混入率は概ね 1 割程度となっていることから資源を下支えする取組となっていると考えられる。

このため、資源の有効利用を図るためには、現在の取組を継続していくとともに、今後の海洋環境の変化や資源状況を注視し、状況に応じた対応を検討していくことが重要と考えられる。